

# SRD キット スバル A1 タイプ

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして誠に有難うございます。  
ご使用の前に本書を必ずお読み下さい。

## 本説明書の内容

### A.使用目的・概要

製品の使用目的、概要等が記してあります。取付け車輛の使用者は必ずお読み下さい。

### B.内容物

製品及び付属品、内容物全てを記してあります。取付け作業前に必ずお読み下さい。

### C.取付けについて

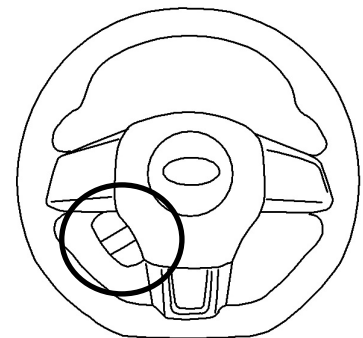
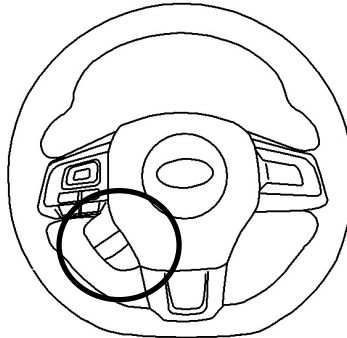
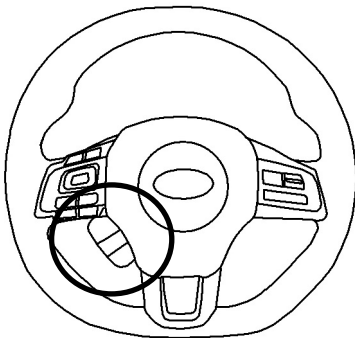
製品の取付けに関して記しています。取付け作業をされる方は必ずお読み下さい。

### D.注意事項

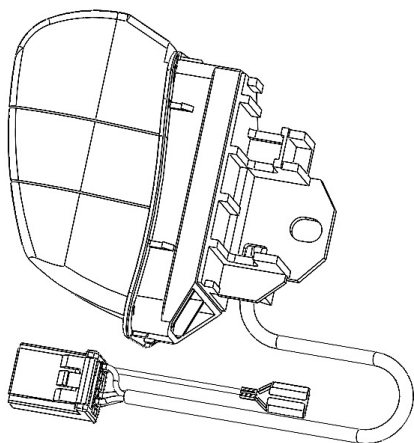
製品及び取扱説明書の内容についての注意を記してあります。取付け車輛の使用者、取付けされる方は必ずお読み下さい。

## A.使用目的・概要

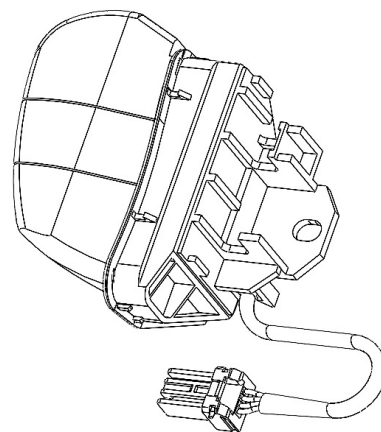
- ・ スバル車の純正ステアリングスイッチのマルチインフォメーションスイッチ(下図丸部分)のみをスポーツタイプステアリングホイール及びステアリングボスに移設する製品です。この目的以外で使用しないで下さい。
- ・ 本製品はワークスベル製ステアリングボス 542 と併せて使用します。単品ではステアリングホイールを車輛に取付けることができません。
- ・ 下図ステアリングスイッチ形状以外の車輛には装着できません。
- ・ 他社製ステアリングボスには使用できません。
- ・ 標準的な直径 350mm 以上のスポーツタイプ 3 本スポークステアリングホイールの使用を想定して設計されています。それより小さい直径のスポーツタイプステアリングホイールや 3 本スポーク以外のステアリングでは使用状況を検証しておりません。
- ・ 純正のステアリングスイッチの取外し方は記載しておりません。車輛メーカーもしくはディーラーにお尋ね下さい。
- ・ ステアリングボスの取付けはボス付属説明書をご参照下さい。



対応形状スイッチ詳細(どちらの配線形状にも対応します。)

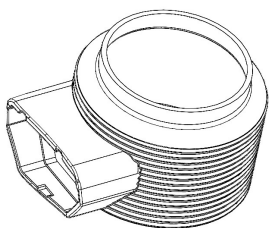


配線形状①  
(本紙 3~4 ページ参照)

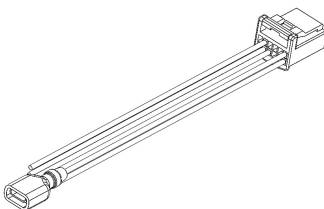


配線形状②  
(本紙 5~6 ページ参照)

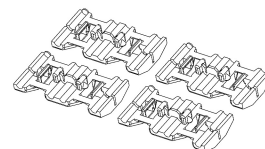
B.内容物



スイッチマウント本体



付属ホーンコネクタ



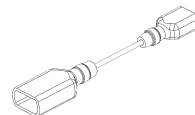
エレクトロタップ 4 個



サリ頭六角穴ボルト M5 × 20



フランジナット M5



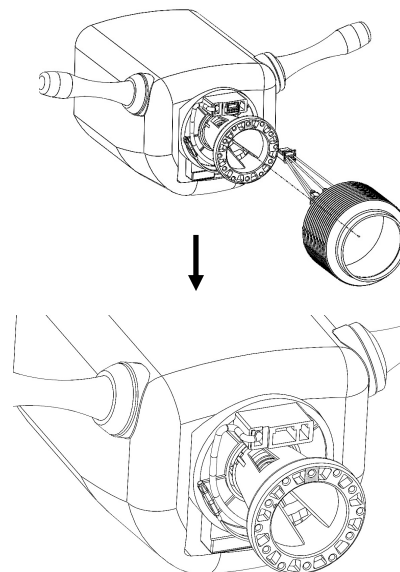
ホーン変換コード

### C.取付けについて 配線形状①のタイプ

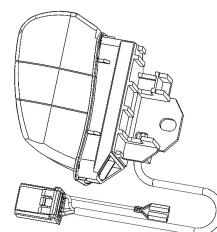
**注:ステアリングを直進状態で停車し、バッテリー端子を外してから行って下さい。**

**注:バッテリー端子を外す事で生じる再設定方法は事前に自動車メーカーにお問合せ下さい。**

- 1、ボス 542 の装着状態から、  
ステアリングホイール、ホーンボタン、(ホーンリング)を外した後、右図のように
- ・ ボスカバー
  - ・ ホーンコネクタ
- を取外し、右図の状態にします。

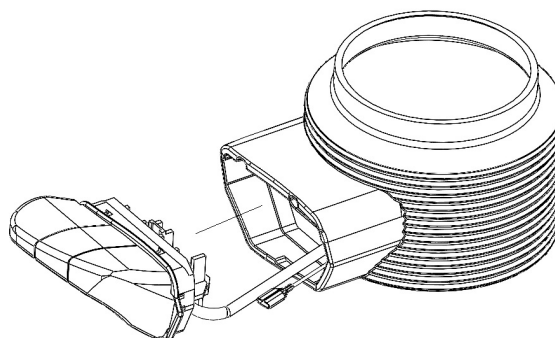


- 2、純正ステアリングから、ステアリングスイッチを取外して下さい。



- 3、取外した純正スイッチをスイッチマウントに挿入します。.

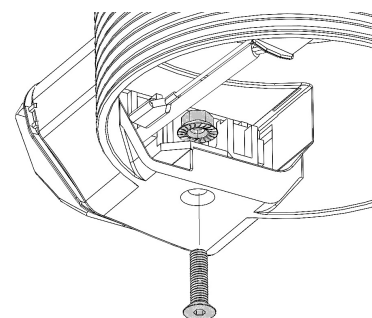
**注:配線を挟まないようにご注意ください。**



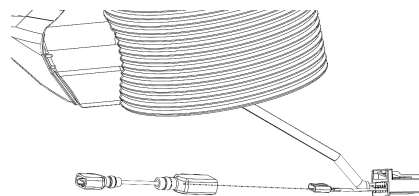
- 4、付属サラ頭六角穴ボルト M5 × 20 を図のように差し込んで

付属フランジナット M5 で締付固定して下さい。

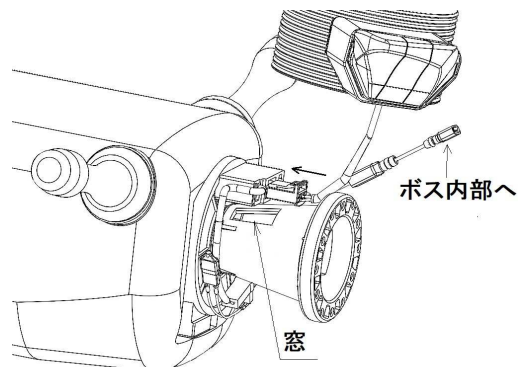
**注:締め過ぎにご注意下さい。**



5、付属ホーン変換コードを、純正ホーン端子に接続して下さい。

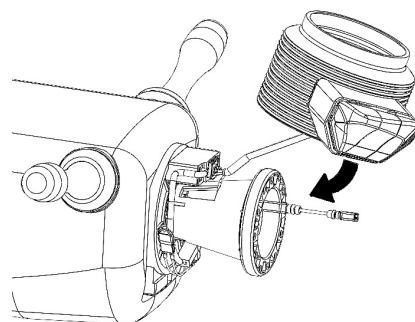


6、ホーンコネクタをスパイラルケーブルに差し込んでから、ボスの中にホーン配線を側面の窓からボス内部に引き込んで下さい。



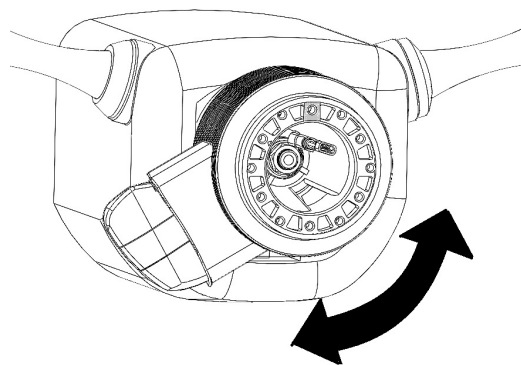
7、ボスにスイッチマウントを軽く差し込んで下さい。

注：配線を挟み込まないようにご注意下さい。



8、スイッチの位置を調整してからステアリングホイールをボルトで固定するとスイッチマウントがボスに押し付けられて固定されます。ホーンボタン(MOMO タイプのホーンボタンはホーンリング併用)を取付け、ホーンの鳴動の確認、エンジンを始動してステアリングスイッチの動作確認、ステアリング操作に支障が無いか確認して作業終了です。

ステアリングのボス取付面が平面でない、平面部が小さい、等の場合、マウントが固定できずに回転してしまうことがあります。薄い両面テープをボスとマウントの間に貼付して固定して下さい。



→次は7ページへ

### C.取付けについて 配線形状②のタイプ

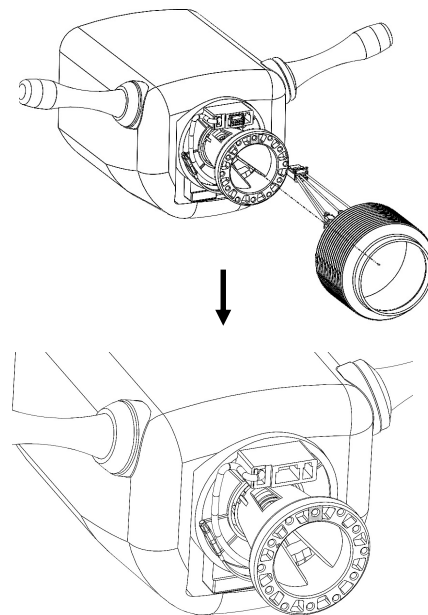
注:ステアリングを直進状態で停車し、バッテリー端子を外してから行って下さい。

注:バッテリー端子を外す事で生じる再設定方法は事前に自動車メーカーにお問合せ下さい。

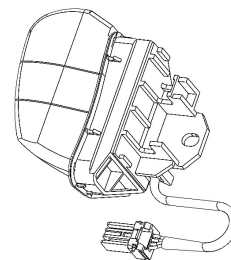
1、ボス 542 の装着状態から、  
ステアリングホイール、ホーンボタン、(ホーンリング)を外した後、右図のよう  
に

- ・ ボスカバー
- ・ ホーンコネクタ

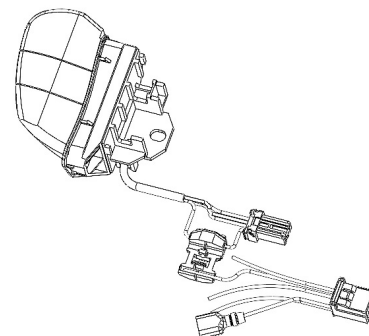
を取外し、右図の状態にします。



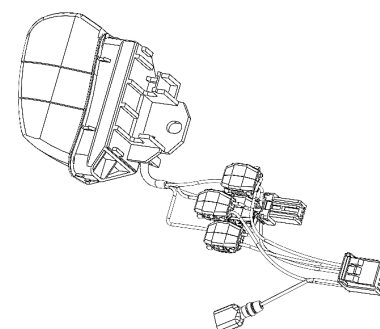
2、純正ステアリングから、ステアリングスイッチを取外して下さい。



3、保護チューブを必要分剥いて、付属ホーンコネクタとステアリングスイッチ  
の配線をエレクトロタップで接続して下さい。同じ配線色で接続します。

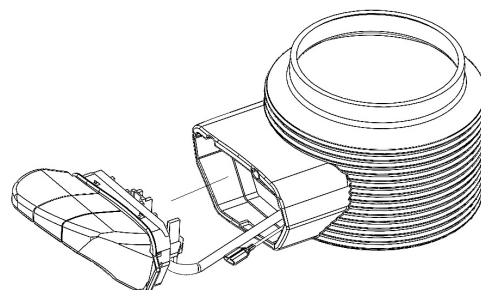


ホーン配線以外の 4 本を全て接続します。



4、取外した純正スイッチをスイッチマウントに挿入します。

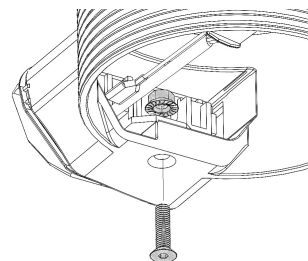
**注：配線を挟まないようにご注意ください。**



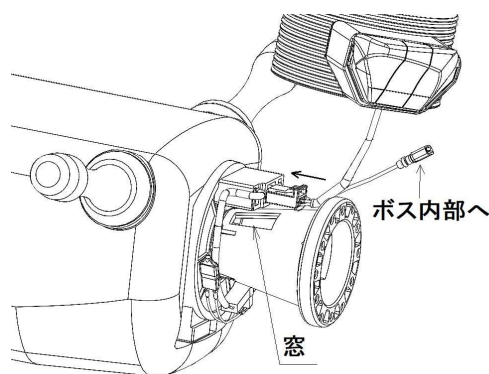
5、付属皿サラ頭六角穴ボルト M5×20 を図のように差し込んで

付属フランジナット M5 で締め固定して下さい。

**注：締め過ぎにご注意下さい。**

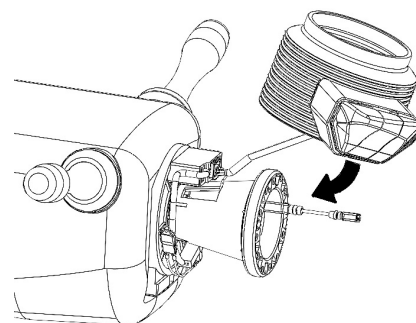


6、ホーンコネクタをスパイラルケーブルに差し込んでから、ボスの中にホーン配線を側面の窓からボス内部に引き込んで下さい。



7、ボスにスイッチマウントを軽く差し込んで下さい。

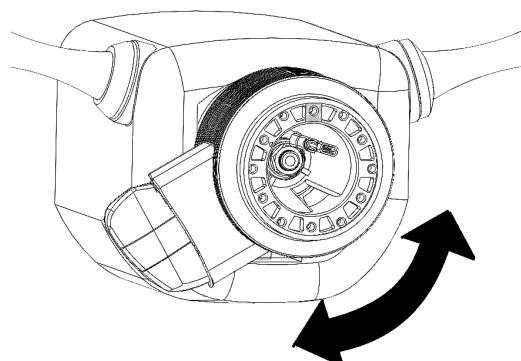
**注：配線を挟み込まないようにご注意ください。**



8、スイッチの位置を調整してからステアリングホイールをボルトで固定するとスイッチマウントがボスに押し付けられて固定されます。

ホーンボタン(MOMOタイプのホーンボタンはホーンリング併用)を取付け、ホーンの鳴動の確認、エンジンを始動してステアリングスイッチの動作確認、ステアリング操作に支障が無いか確認して作業終了です。

ステアリングのボス取付面が平面でない、平面部が小さい、等の場合、マウントが固定できずに回転してしまうことがあります。薄い両面テープをボスとマウントの間に貼付して固定して下さい。



## D.注意事項

- ・取付け完了後、ステアリング操作をして異常が無いか確認して下さい。正しい配線の取回し等がなされず、車輛側のスパイラルケーブルを配線類で押していると、ステアリング操作が重くなる場合があります。また、その状態で運転を続けると車輛部品が破損する恐れがあります。ご注意ください。
- ・ トランク、ボンネット、ドアが開いているとスイッチが操作できない場合があります。
  - ・ 車輛の運行前には必ずスイッチマウント、スイッチが固定されていることを確認して下さい。運転中にスイッチが脱落するとステアリング操作ができなくなり大変危険です。
  - ・ 本製品を改造してご使用にならないで下さい。
  - ・ 取り外した純正ステアリングや部品は大切に保存しておいて下さい。なんらかの事由により、純正状態に戻す際に必要になります。弊社ではその責任を負えません。
  - ・ 弊社製品は慎重に検査し不具合がないことを確認してから出荷しておりますが、万が一品質に問題がある場合は弊社までお問い合わせ下さい。このとき製品を一度弊社までお送り頂く場合が有り得ます。上記純正部品が必要になりますし、ご自分で作業されない方は工賃が派生することが想定できますが、弊社ではこの純正部品、工賃等は一切保証致しかねますので何卒ご了承下さい。

製造元：株式会社ワークスベル

〒391-0011 長野県茅野市玉川 8507

問合せ先：ワークスベル・カスタマーセンター

TEL：0266-70-1477

E mail：[support@worksbell.co.jp](mailto:support@worksbell.co.jp)